

令和8年度宝達中学校教育方針

1 学校経営基本方針

(1) 教育目標

社会で貢献するための素地となる「^{シン}〇・言動力」の育成

～ 自分もまわりも成長できる思いを 言葉に 行動に ～

<教育目標の設定理由>

本校ではこれまで、「言動力の育成」を教育の柱として取り組んできた。その結果、生徒が自ら考えを持ち、言葉や行動で表現しようとする姿は着実に見られるようになってきた。一方で、その内容や質については、場面や個人による差も見られ、より主体的で深い思考に基づいた言動へと高めていくことが課題である。

また、変化の激しいこれからの社会においては、自らの考えを持つだけでなく、多様な他者と関わりながら、よりよい関係や社会を築いていく力が一層求められる。そのためには、言葉と行動の両面から自分の思いや考えを適切に表現し、他者につながる力を継続的に育成していく必要がある。

こうした現状と課題を踏まえ、本年度は従来の「言動力の育成」をさらに深化させるため、その前提となる生徒一人一人の内面的な意識に着目し、「〇（シン）」という視点を加えた。例えば、より前へ進もうとする「進」、学びを深めようとする「深」、新しい自分に挑戦する「新」、真実を見極めようとする「真」、そして人に寄り添う「親」といった「進」「深」「新」「真」「親」などに象徴されるように、生徒が自らの在り方を見つめ、「どのように成長したいのか」という方向性を主体的に考えることが、言動の質を高める基盤になると考える。自分なりの「シン」を意識することで、日々の言葉や行動に目的意識が生まれ、それが自他の成長につながる実践へと結び付いていくことを期待し教育活動に取り組む。

以上のことから、本校では令和8年度の教育目標を

「〇（シン）・言動力の育成 ～自分もまわりも成長できる思いを言葉に行動に～」

と設定した。

(令和7年度教育目標)



(令和8年度教育目標)



(2) 経営方針

生徒も教職員も謙虚な言動を心がけ、仲間と共に協働し、一人一人が成長することができる学校運営

躍 動	・・・ 動きのある学校
共 感	・・・ 人が大切にされる学校
発 信	・・・ よさが伝わる学校

(3) 校訓とめざす生徒像

自 主：「何か・誰か」のためにがんばる生徒

剛 健：目標に向かって前向きに挑戦する生徒

敬 愛：仲間と力を合わせ共に高め合う生徒

(5) めざす教師像

- ・一人一人の生徒に、目をかけ、心をかけ、語りかける教師
- ・心身ともに健康で、自ら指導力を磨くとともに生活を豊かにする教師
- ・生徒・保護者・地域から信頼される教師

(6) めざす授業像

- ・課題に対する考えをもち個人・集団で追究する授業（問題発見・解決能力）
- ・変容の見いだしと積み重ねを大切にした授業（実践力）
- ・仲間の意見や考えに反応して自分の考えを深める授業（人間関係形成能力）

2 今年度の重点

(1) 確かな学力の定着

生徒が「わかった」「できた」「もっとやりたい」が感じられる**変容を生み出す授業**

(2) 生徒が活躍できる場の設定と生徒理解の推進

生徒が役割を持ち、活躍できる場を設定し、生徒のよさや努力を見逃さず、即時に認める指導の徹底

(3) 温かい人間関係と自治的な能力を培う学級・学校経営

互いに認め合う学級・学校の経営の充実といじめ、不登校の未然防止につながる日常的な対話と見取り

(4) 開かれた学校づくり

授業や教育活動における生徒の成長や変容した姿を、校内掲示・通信・HP等で可視化し丁寧に伝える。

(5) 教職員の資質の向上と業務改善

教職員が前向きに挑戦できる校内風土の醸成と若手が力を発揮できる役割付与と育成体制の整備